

週間漁海況情報 2021年第41号

令和3年10月19日発行

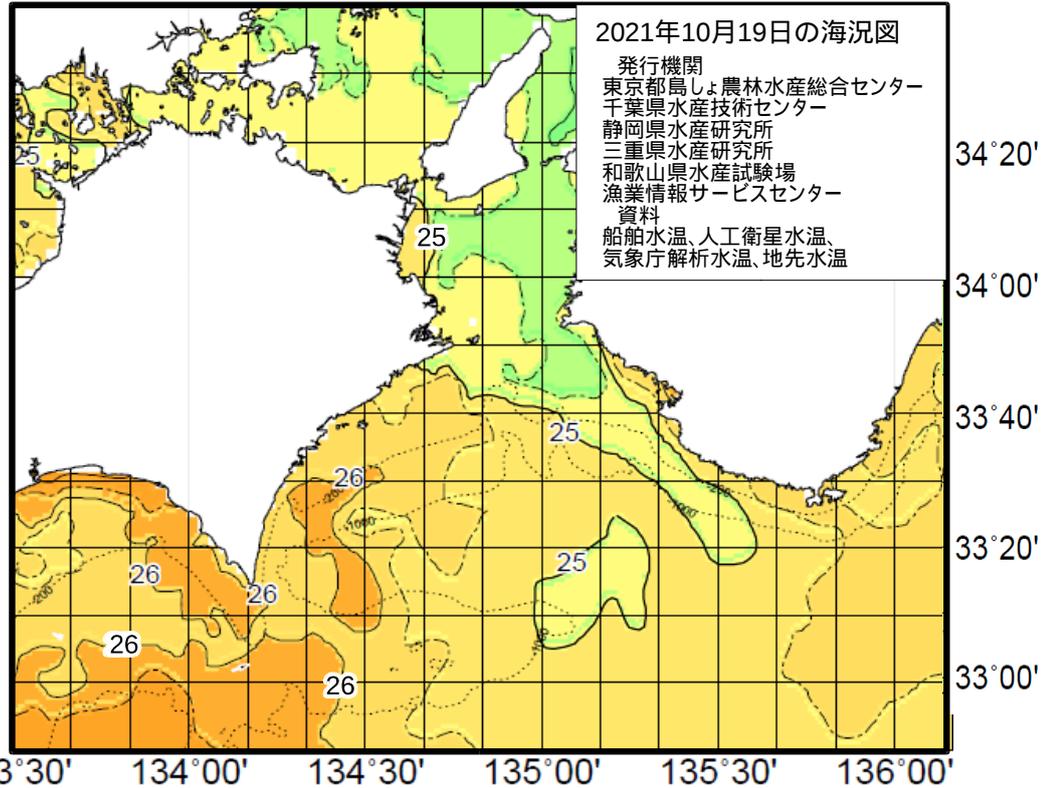
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖60マイル、潮岬沖135マイルを流れ、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」となっている。

黒潮から紀伊水道外域への暖水波及は弱まっている。黒潮の表面水温は27 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が24 台、紀伊水道が24、25 台、海部沿岸が24～26 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

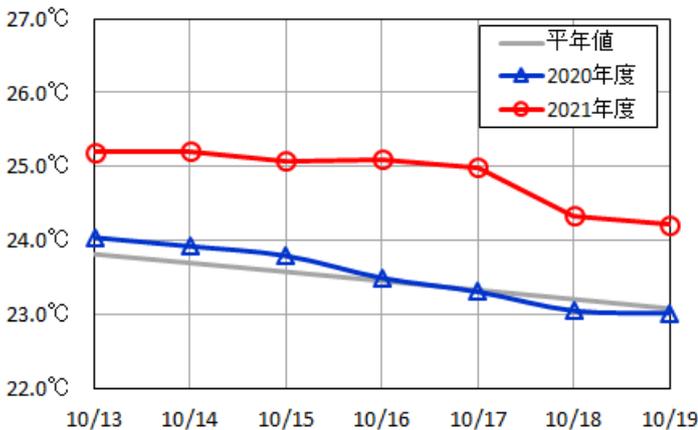
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

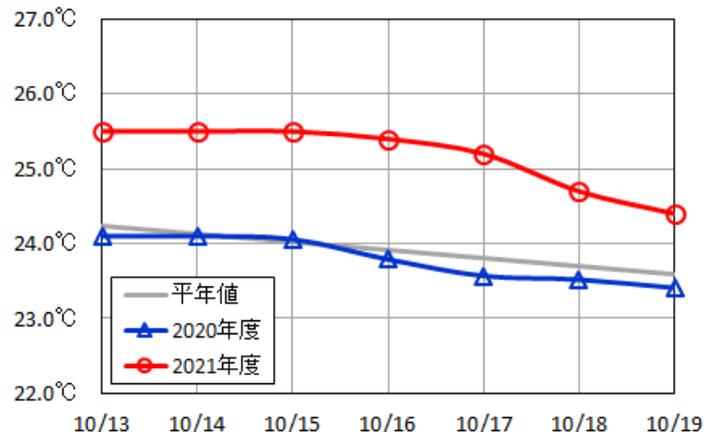
2. 地先水温(10月13日～10月19日)

鳴門地区の水温は25.2～24.2 で「高め」から「やや高め」、日和佐地区は25.5～24.4 で「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0.2～0.4 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(10月20日～10月26日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門、日和佐地区ともに「やや高め」から「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (10月11日～10月17日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが減って114.5ト水揚げされた。
 延縄では、サワラが増えて0.4ト、タチウオが大きく減って特大主体に0.3ト、ムツが0.2ト水揚げされた。
 建網では、カワハギが大きく減って大主体に0.4ト、タカノハダイが大きく減って0.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、カンパチが増えて1.2ト、ブリが増えてめじろ級主体に0.8ト、クロサバフグが減って0.3ト水揚げされた。
 底びき網では、クロサバフグが大きく減って1ト、いとより類が大きく減って0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、カツオが増えて特大主体に10.6ト、シイラが小主体に0.3ト、タチウオが減って0.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが大きく減って豆アジ主体に2.8ト、かます類が0.8ト、イサキが大きく増えて小主体に0.5ト、マサバが減って0.3ト、メアジが増えて0.3ト、ヒラソウダが減って0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	69	シラス	114,500	1,659		
	延縄	16	サワラ	428	27		
		28	タチウオ	273	10	特大主体	
		6	ムツ	206	34		→
		57	カワハギ	445	8	大主体	
	建網	39	タカノハダイ	212	5		
		14	カンパチ	1,181	84		
	小型定置網	13	ブリ	812	62	めじろ級主体	
		12	クロサバフグ	303	25		
		8	クロサバフグ	1,032	129		
底びき網	9	いとより類	230	26			
	海部沿岸	釣り	3	カツオ	10,622	3,541	特大主体
3			シイラ	287	96	小主体	→
18			タチウオ	209	12		
小型定置網		19	マアジ	2,809	148	豆アジ主体	
		15	かます類	777	52		→
		5	イサキ	544	109	小主体	
		12	マサバ	343	29		
		12	メアジ	337	28		
15	ヒラソウダ	200	13				

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: